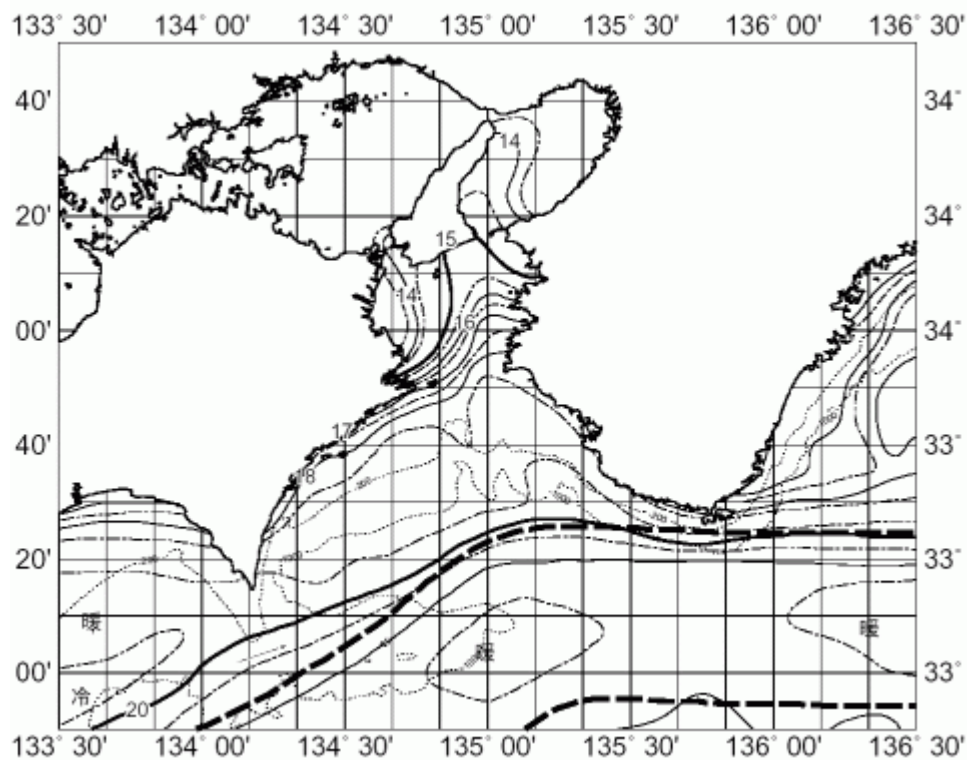


1. 海況の経過



上に和歌山県の海況図(H19.12.25)を示した。

黒潮は室戸岬沖でやや離岸し、潮岬沖で接岸している。黒潮本流の表面水温は21℃台である。

表面水温は播磨灘が14℃台、紀伊水道内部が13～17℃台、外域が16～19℃台となっている。また、潮岬沖で黒潮が接岸しているため和歌山県側から暖水の波及が紀伊水道内部へみられる。

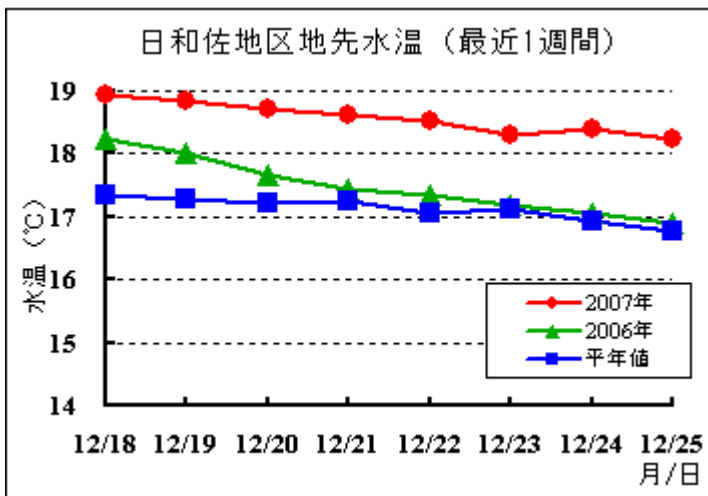
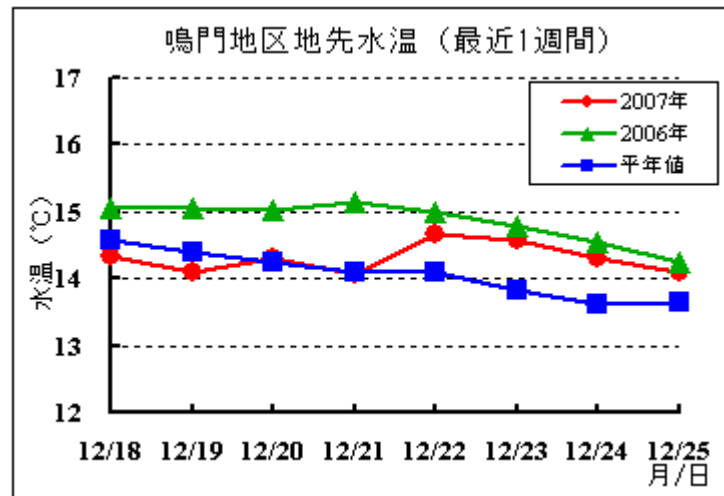
漁業調査船「とくしま」が12月12,14,18日に行った紀伊水道海区の海洋観測では、水温は表層～50m層で「やや高め」の20.4～20.7℃、100m層で「高め」の20.1℃であった。

海部沿岸海区観測結果 (観測日 2007/12/12,14,18)

水温	水深						塩分	水深					
	表層	10m	20m	30m	50m	100m		表層	10m	20m	30m	50m	100m
今年値	20.6	20.5	20.5	20.4	20.7	20.1	今年値	34.5	34.5	34.5	34.5	34.6	34.6
平年偏差	0.7	0.7	0.6	0.5	0.7	1.5	平年偏差	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.0
前年偏差	0.3	0.3	0.2	0.1	0.2	-0.2	前年偏差	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」～「やや高め」の14.1～14.7℃、日和佐地区は「やや高め」～「高め」の18.2～18.9℃、牟岐地区は「やや高め」～「高め」の17.7～18.8℃で推移した。



2. 漁況の経過

延縄:海部沿岸で、大主体にサバフグが 1.3トン(1日1隻あたり41kg)、大主体にアマダイが 0.6トン(同32kg)水揚げされた。

小型定置網:海部沿岸で、アオリイカが 2.3トン(同14kg)、マメ主体にマアジが 0.6トン(同111kg)、メジナが 0.5トン(同37kg)、スズキ類が 0.5トン(同41kg)、水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、特大主体にヨコワが 2.3トン(同22kg)、大・中主体にアオリイカが 1.7トン(同10kg)、中主体にヒラソウダが 1.4トン(同289kg)、特大主体にカツオが 1.1トン(同127kg)、大・中主体にタチウオが 0.7トン(同26kg)、紀伊水道で、大主体にサワラが 0.7トン(同18kg)水揚げされた。

パッチ網:紀伊水道で、シラスが 3.3トン(同50kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 12月17日～12月24日 県下7漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻あたり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄		サバフグ	32	1,304	41	大主体
		アマダイ	19	603	32	大主体
小型定置網	海部沿岸	アオリイカ	169	2,337	14	
		マアジ	5	553	111	マメ主体
		メジナ	14	523	37	
		スズキ類	11	454	41	
		ヨコワ	102	2,270	22	特大主体
釣り	海部沿岸	アオリイカ	164	1,707	10	大・中主体
		ヒラソウダ	5	1,446	289	中主体
		カツオ	9	1,147	127	特大主体
		タチウオ	29	741	26	大・中主体
		サワラ	42	736	18	大主体
パッチ網	紀伊水道	シラス	65	3,250	50	

週間予報:

黒潮は室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸する見込み。

地先水温は、鳴門地先が「やや低め」の12～13℃台、日和佐地先が「平年並み」の17℃台で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県の釣りでスルメイカが 1.6トン(1日1隻あたり13kg)、メジロが 0.4トン(3kg)、イサキが 0.4トン(3kg)、パッチ網でシラスが 7.5トン(同117kg)水揚げされた。

高知県芸東地域の大型定置網で、マアジが 8.3トン、サバ類が 4.9トン、ウルメイワシが 1.6トン、メジカが 12.5トン、スルメイカが 12.0トン水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上